

初心に帰って、町民目線で

黒木 一 くろき はじめ 「73歳」
横落区(現)



この度、2期を迎えるに当たり新たなスタートとなりました。

新人で過ごした4年間は無我夢中で、先輩議員に頼ることが多くありました。今回は、先輩議員が少なく大多数が2期生議員であり、責任の大きさを痛感しています。

い・こども達に未来を
持てる町づくり②農業
・地場産業【商・工】
の活性化への支援③災害・防犯強化対策への支援を重点に進めて参ります。

私の持ち味は、フットワークの良さと人間関係の広さと自負しています。

幸田町を、人一倍愛する思いで、情熱と行動力を持って幸田町の

自然と人の共存で 魅力ある町に

廣野 房男 ひろの ふさお 「73歳」
六栗区(現)



この度、2期目の幸田町議会に送っていただき、一層の責任を感じ

ています。

これからも、今まで進めて来た通学路の安全確保の対策と、里山整備活動を利用し、地域コミュニティの素晴らしい地域に、築き上げて行きたいと思えます。

六栗西山の里山整備活動は、南部中、豊坂

小の総合学習の場にも
なり、地域貢献活動として教育に役立てて貰っています。

地元の人と一緒に小学生、中学生が整備した場所で、園児たちが遊んでいる姿を見て、地域の一体感を感じています。

桐山、上六栗、六栗に囲まれた山に、子どもも大人も気軽に散策できる林道をつくる事が、今の活動の最終目

発展に頑張っていくたいと思います。

町民の皆様が主役です。みんなで一緒につくります。未来の幸田町を。



標です。

緑豊かな自然の中で、健康な心と体を育み、いつまでも住み続けたいと思わせる、幸田町にして行くために頑張ります。

二元代表制を 確立できる議会に

稲吉 照夫 いなよし てるお 「76歳」
芦谷区(現)



3期目を目指して、初めて選挙を経験しました。大変厳しい選挙で、支援くださった人たちが初め、町民の皆さまのために、働ける議員になる決意をしました。

2期の経験から、議会改革の必要性を訴えてきました。二元代表制の下、町政は行われています。今まで議会の使命であるチェック機能が働いているか、はなはだ疑問を感じています。3月議会において、議会基本条例を

制定しました。議会と町民の皆さんとの意見交換、全議員間の討議、議会と町長部局との、適度な緊張関係などを、考慮した議会活動が重要と、考えています。

議会のタブレット導入は、他町村より遅れています。タブレット化はペーパーレス、役場職員の業務合理化にも繋がり、実現したいテーマです。

幸田町は順調に発展しています。順調な時こそ、将来をしっかりと見極め、計画を立てることが、重要と考えています。



私の抱負

町民一人ひとりの声を大切に

笹野 康男 「76歳」

里区(現)



昨年度制定された「幸田町議会基本条例」に則って議会、及び議員の役割を充分に果し、町民一人ひとりの御意見を真剣に耳を傾け、我々議員が町政の発展と町民の福祉増進に努めなければなりません。

そのために町民の皆様との対話を多く設け、行政の施策と一緒に考え、チェック、監視していく必要があります。

本町も「緑住文化都市」5万人を目指し、すみやすく、住んでよかった町づくりが必要

福祉・くらしを第一にする町政

丸山千代子 「71歳」

横落区(現)



災害の少ない町、高齢者の安心して住み暮らせる町、また、少子化対策で安心して産み育てる環境整備、そして、総合体育館、歴史博物館、等々、町民の願いは山積みです。議員として町民の思いをしつかり受け止めて、頑張つて参ります。

快適で住みやすい町を望むは町民の願いです。町民のために幸せで安全、安心の幸田町をめざしていきます。

住民こそ政治の主人公をモットーに、みなさんとともに、安心して子育てしやすい町、住み慣れた町で安心して老後を過ごすことができる町になるように、これからも頑張つていく決意です。

コロナ禍や物価高騰



第一回臨時会

議会広報特別委員会

- 委員長 田境 毅
- 副委員長 廣野 房男
- 委員 都築 幸夫
- 委員 岩本 知帆
- 委員 長谷川 進
- 委員 野坂 純子
- 委員 吉本 智明
- 委員 藤本 和美
- 発行責任者
- 議長 藤江 徹

編集後記

5月9日、議会広報特別委員会が設置され、編集委員も新たなメンバーとなりました。

「議会だより」は、

町民と議会のパイプとして、議会を身近に感じ、ありのままをわかりやすく伝える役割を持っていきます。引き続きご愛読をお願いします。

委員長 田境 毅

など、町民のみなさんのくらしが大変という声が多く寄せられており、くらしを支える町政に全力で取り組みます。

小中学校の学校給食無償化、中高生の居場所づくり、高齢者の補聴器購入費助成や外出支援、18歳までの国民健康保険税の均等割廃止、公営の合葬式墓地公園整備、気候温暖化対策などの取り組みを進めます。

「町民の目線」で、町政をチェックする役割もますます重要であり、監視機能を高め、福祉・くらしを第一にする町政めざし頑張ります。

※各議員の抱負は、議席番号順に掲載しています。

●幸田町監査委員の選任について

監査委員(議会選出) 黒木一氏(横落区)

(全員賛成で同意)

●幸田町固定資産評価員の選任について

固定資産評価員 稲熊公孝氏(蒲都市)

(全員賛成で同意)

●幸田町条例の一部改正について

(賛成多数で可決)

●幸田町都市計画条例の一部改正について

(全員賛成で可決)

●幸田町国民健康保険条例の一部改正について

(賛成多数で可決)

●令和5年度幸田町一般会計補正予算(第1号)

(全員賛成で可決)